

二十有余年を経て地域悲願の全線改良達成

～ 一般県道印賀奥出雲線を冬季でも安心して通行できるようになりました～

道路建設課



改良後

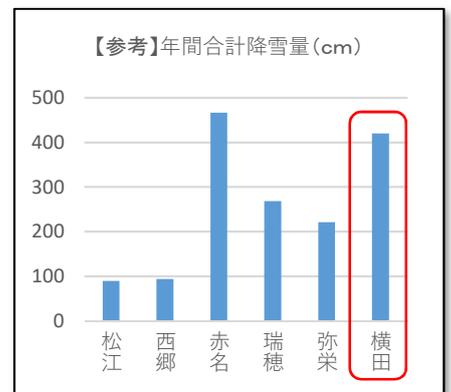


改良前

一般県道印賀奥出雲線は、延長約7キロメートルの県境を跨ぐ道路で、通勤、通学、通院等、地域住民の日常生活を支える重要な道路です。

1級河川「斐伊川」の蛇行に沿った、線形が悪い1車線道路である上に、中国地方有数の豪雪地帯であることから、道路改良と雪寒事業とを並行し、また河川改修とも連携して事業を進めました。

上下片側1車線及び片側歩道や県境付近において除雪のための路肩拡幅などを行い、この度中羽工区の完成をもって、二十有余年の歳月を経て全線改良を達成しました。



当該地域（横田）の降雪量
※2010年から過去26～29年の平均値
(松江地方気象台のデータより作成)

開通式の様子



地元自治会長さんのお話

- 全線開通は地域住民の悲願でした
- 一番の難所は、離合が難しく見通しの悪い万丈工区
- 特に冬季の通行が大変で、過去には車が路外に転落することが何度かありました
- 完成により冬季も安心して通行できるようになり皆が喜んでいます



道路の積雪のようす

事業箇所

